

2 体 操

大会名称 第52回宮崎県高等学校総合体育大会第77回体操競技大会

主催 兼全国高校総体・九州高校体育大会県予選会
後援 宮崎県高等学校体育連盟・宮崎県教育委員会
主管 公益財団法人宮崎県スポーツ協会・宮崎県体操協会
 宮崎県高等学校体育連盟体操専門部

1 期 日 令和 7年 5月23日（金）～ 5月25日（日）（3日間）
 5月23日（金） 13：00 設営・開会式・公式練習
 5月24日（土） 8：00 公式練習・競技
 5月25日（日） 8：00 公式練習・競技・閉会式

2 会 場 宮崎県体育館

3 競技規定

（1）日本体操協会競技規則および採点規則（全国高体連適用）による。

4 競技方法

（体操競技）

競技別	方 法
団 体	団体得点は、競技Ⅰ（団体選手権）における各種目上位3名の得点を合計したものとし、自由演技の得点の合計により順位を決定する。
個 人	競技Ⅱ（個人総合選手権）における全種目の自由演技の得点合計により順位を決定する。
種目別	競技Ⅲ（種目別選手権）における各種目別の自由演技得点により順位を決定する。

（新体操）

性 別	競技別	方 法
男 子	団 体	自由演技の得点により順位を決定する。
	個 人	「リング」および「ロープ」の2種目の合計得点により順位を決定する。
	種目別	個人競技の各種目別得点により順位を決定する。
女 子	団 体	自由演技得点により順位を決定する。 手具は「ボール3・フープ2」とする。
	個 人	「フープ」「リボン」の2種目の合計得点により順位を決定する。
	種目別	個人競技の各種目別得点により順位を決定する。

5 引率・監督

- （1）引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。
- （2）監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

6 参加資格

- （1）宮崎県高等学校体育連盟に加盟している高等学校（中等教育学校後期課程を含む）生徒であること。
- （2）令和7年度日本体操協会登録を完了したものであること。
- （3）年齢は平成18年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- （4）チーム編成において、全日制の課程と定時制・通信制課程の生徒の混成は認めない。
- （5）参加する生徒は予め健康診断を受け、在学する学校長の参加申込書を必要とする。
- （6）転校後6ヶ月未満の者は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）ただし、一家転住等やむを得ない場合は、所属高等学校長の申請により県高体連会長が認可する。
- （7）参加資格の特例
 - （ア）上記（1）に定める生徒以外の参加については、開催基準要項に準ずる。
 - （イ）新体操団体において、学校統廃合に伴う参加は、対象となった学校の部同士の合同チームを認める。
 - （ウ）部員不足に伴う複数校合同チームの大会参加について、新体操団体に限り以下の条件で認める。

- ① 対象校の部員数が出場人数（エントリー数ではない）に満たない場合。
- ② 常日頃より合同練習を行っていること。
- ③ 異種競技の生徒であっても対象校の校長が認め、日本体操協会の登録が完了している者の補充。

7 参加制限

- (体操競技) ア) 団体競技は男女共各校 1 チーム。
 イ) 個人競技は各校男女共 5 名まで出場することができる。
 ウ) チーム編成は監督 1、選手 4、補欠 3 を認める。ただし、補欠選手は申込書に明記された者でなければ交替できない。
 エ) チームリーダーは監督がこれを兼務することを原則とし、やむを得ない場合は補欠選手の 1 名をもってこれにあてることができる。
 オ) 団体・個人・補欠選手の相互交替を認める。
- (新体操) ア) 団体競技は男女共各校 1 チーム。
 イ) 個人競技は男子 8 名女子 5 名まで出場することができ、補欠 3 名を認める。
 ウ) チーム編成は監督 1、選手 5、補欠 3 を認める。ただし、補欠選手は申込書に明記された者でなければ交替できない。

8 表彰

9 申込方法

体操競技、新体操ともに団体 3 位、個人 3 位、種目別 3 位まで表彰する。

- (1) 所定の申込用紙(公印有り)を PDF 化し、入力済みデータと 2 点揃えて以下に送信する。
- (2) 送信先: zushi54_9@hotmail.com
 宮崎北高校 図師 正敏 宛

10 参加料

- (1) 1 人 4 0 0 円とする。
- (2) 徴収方法は、各学校の指示に従うこと。参加料の納入は、高体連発番の文書に従い、学校単位で行うこと。
- (3) 申込締切日 : 令和 7 年 4 月 2 5 日 (金) 1 7 時必着

11 資格取得

- (1) 体操競技 ア) 団体の部 1 位全国大会・九州大会出場資格を得る。
 イ) ① 全国大会個人の部は上位 2 名が出場資格を得る。
 ② 九州大会個人の部は上位 5 名が出場資格を得るが、団体出場校は除き、同一校 3 名までとする。その他の場合は、九州大会要項に準ずる。
 ウ) 団体・個人とも同点 1 位の場合は、日本体操協会競技規則の定めるタイブレークを用いる。
 ① 団体・個人選手権ともに、一番点数の低い種目を除いた種目の合計得点の高い方。
 ② 次の種目合計得点の高い方を繰り返す。
- (2) 新体操 ア) 団体の部女子 1 位は全国大会、男女 1 位・2 位は九州大会出場資格を得る。
 イ) 個人の部 1 位は全国大会、1 位・2 位は九州大会出場資格を得る。
 ウ) 代表決定の出場チーム・選手が同点の場合は、次の方法による。

男子団体競技	女子団体競技
①構成得点の高い方。	①Eスコアの高いチーム。
②主任審判員（構成・実施）の合計得点の高い方。	②上記①において同点の場合、最も低い技術減点(ET)を有するチーム。
③主任審判員を除く審判員の合計得点の高い方。	
男子個人競技	女子個人競技
①最高得点を獲得した種目数の多い方。	①2種目のEスコアの合計が高い選手。
②主任審判員の得点の高い方。	②上記①において同点の場合、2種目の技術減点(ET)が低い選手。
③主任審判員を除く審判員の合計得点の高い方。	

12 連絡事項

- (1) 競技中の疾病、傷害などの応急処置は主管者側ですが、その後は日本スポーツ振興センターの規定に従って各学校で処置すること。
- (2) 参加者は保険証を持参すること。
- (3) 不明な点は、図師 正敏（体操専門委員長 宮崎北高校）宛に連絡すること。

* 高体連大会で取り扱う個人情報については、要覧記載の「宮崎県高等学校体育連盟個人情報保護方針」に則る。